

### 第3回 アドホック会議(OASIS/PPSTC ジョイント)議事録 (ものづくり APS 推進機構 PSLX フォーラム)

日時：2006年12月13日(水) 10:00~18:00

場所：製造科学技術センター (MSTC) 第一会議室

#### 出席者 (敬称略・順不同)

西岡靖之 (法政大学)、和田浩一 (テクノラティジャパン)、松川信也 (日立製作所)、  
水谷雅宏 (日本ユニシス)、原田騎郎 (オーグス総研)、吉川英二 (SAP ジャパン)、  
岡宗秀一 (製造技術科学センター)、馬場祐人 (書記・法政大学) 8名

#### 配布資料

- ① 第2回アドホック会議 (OASIS/PPSTC ジョイント) 議事録
- ② JWG 15 議事録
- ③ JWG15 と PSLX 紹介 (抜粋)
- ④ PPS Part 1: Core Elements Committee Draft J01 rev10, Sept 20th, 2006
- ⑤ PPS Part 2: Transaction Messages Working Draft 15, December 13th, 2006
- ⑥ PPS Part 3: Profile Specifications Working Draft 03, June 21st 2006
- ⑦ PPS Part3 Profile Specification 概要

#### 議事内容

(午前)

##### (1) 報告事項などについて

※IEC/ISO JWG15 活動概要と PSLX 標準仕様の国際化について

- ・標準化団体の国際情勢や策定仕様について説明された
- ・IEC 62264 のパート4について説明された

※OASIS 標準に向けた今後のスケジュールについて

- ・今後の課題として、来年5月までに PPS の仕様が入り入れられるように進めていくことであることが確認された

※MOF2006 実証実験の報告

- ・先日行われた MOF2006 の実証実験についての報告が行われた

(午後)

##### (2) PPS Part2 Transaction Messages の情報の同期について

前回以降の変更点について確認、議論された

#### SP95 Draft11 のPublishモデルについて

- ・参考として SP95 Draft11 の Publish モデルについて議論された
- ・SYNC xxx というメッセージについて、実際のトランザクションの内容と Verb 名が合致しないという意見が出され、議論された

#### Part2 3.メッセージ交換モデルについて(P.7)

- ・3.1 基本パターンの「通信パターン」図について  
→左右の図の違いや、右図の同期型の場合と非同期型の場合について整理して説明する必要があるという意見が出された

- ・誰がメッセージのオーナーであるかが不明であるという意見が出された  
→単にメッセージをやりとりするだけでなく、上位層との関係が含まれて説明されている
- ・Get/Show モデルと Sync モデルとの違いについて  
→Get/Show は受け取るとすぐに値を返す。情報が変更された場合などのイベントが起こった場合の通知メッセージの開始を設定するために Sync Request/Sync Add/Sync Cancel が必要であるということが確認された →P.36 の情報同期化の概要を参考
- ・Add と SyncAdd の”Add”の意味が異なる。Add は追加であるが SyncAdd は通知に近く、Notify と同様に受け取られるという意見が出された
- ・同期依頼(Sync Request)と同期取消(Sync Cancel)は、実装では省略可能であるということが確認された

## Part2 8.情報の同期化(同期通知メッセージ)について(P.36)

### ※Publish/Subscribe モデルについて

- ・追加または変更されたことを内容も含めて通知するのではなく、追加または変更されたということだけを通知するイベント通知トランザクションというのが必要ではないかという意見が出された (プリオリディカル(?)Add)
- ・Condition を指定している時点で 1 対 1 の関係となり Publish/Subscribe ではないという意見が出された
- ・特定の場合の情報について通知を受け取る場合は、SyncRequest に Condition を指定する  
→条件を細かく指定すると、変化したことを随時 RDB に問い合わせるので、処理の手間がかかり実装が大変になる  
→Condition は実装側の都合で設定可能にし、多数の SyncRequest がある場合はトリガを限定するなど要求仕様として仕様に残しておくという意見が出された

### ※「情報同期化の概要」図のアクション名の名称について

- ・Sync xxx ではメッセージの動作を的確に表現していないので、今後の確な Verb 名を検討することが確認された  
→暫定として名称を EventNotifyRequest/EventNotify として SyncCancel は NotifyRequest に含めるということに変更することが了承された。

(→Event オブジェクトという業務オブジェクトを作ってしまうことで、一貫性を持たせるという意見)

- ・情報の同期化については PSLX 仕様で、PPS に含めないことが確認された

### (3) PPS Part3 (プロファイル) ドラフト議論

#### ※プロファイル仕様の概要について

- ・プロファイルの仕様について基本的方針が説明され議論された
- ・「一つのトランザクションは一種類の業務オブジェクトしか持てない」ということについて図や本文で明確に説明されていないという意見が出された
- ・今後、PSLX の RDB スキーマの実装を行う過程で、標準業務プロパティを決めていくことが確認された

#### 次回予定

2007年1月16日 第4回 PSLX 技術委員会

2007年2月9日 第4回 アドホック会議 (OASIS/PPSTC ジョイント)

以上